

# 盛り上がった雪の関東リレー

関東リレー大会 2008年2月10日 栃木県矢板市

村越 真

前日昼すぎから降り始めた雪は、夜になると本格的なぼたん雪に変わった。

## 雪の関東リレー

8年ほど前に、日光の七里で行なわれた関東リレーでも、ところによっては膝下まであるような雪の中でレースが行なわれた。日光での2月のレースには、雪のリスクが常につきまとう。

朝起きてみると、田んぼや道路で5センチ程度、森の中ならほとんど気にならない程度にしか雪は積もっていなかった。おまけに晴天で、気温もさほど低くない。雪さえなければ、絶好のオリエンテーリング日和とも言える天気である。

会場は昨年のインカレで使われたトレインに東北自動車道の東側を若干加えた「矢板館ノ川ノ城の湯温泉センター」である。青空会場ではあるが近くに城の湯温泉があるのが心強い。

## 強い！東北大学

レースの方は、男子学生全体では東北大 A の林・日下・長縄がタイムをまとめ東北大 B から逃げ切り、2:49:06でトップタイムであった。関東学連内では、それに遅れること2分で東大 A の林・茂木・太田が優勝した。毎年春のインカレに向けて、各校の戦力を知るいい機会である関東リレーであるが、今年は東北のチームが上位に数多くくいこみ、層の厚さを見せつけていた。

### 男子 ME 成績 (大学生チームのみ上位)

1	東北大学 A	2:49:06
2	東北大学 B	2:49:33
3	東京大学 A	2:51:57
4	東京工業大学 A	2:57:00
5	東北大学 C	3:01:09
6	東京大学 B	3:02:59
7	筑波大学 B	3:06:24

一方女子では、東北大 I につくタイムの筑波大 D の稲葉・坂岡・千葉が3:24:05で優勝した。また、ややタイムが離れているながらも、椋山女学園、宮城学院女子、新潟、金沢など、関東以外の大学もまずまずの成績を見せていた。今年もインカレでは本命の一角を担う日本女子は、学生の中ではトップを走りながらも、3走で失格という残念な結果になった。



OB クラスで優勝の筑波 OB チーム。左から佐々木、坂本、小泉。

### 女子 WE 成績 (大学生チームのみ上位)

1	東北大 I	3:16:31
2	筑波大学 D	3:24:05
3	椋山女学園 A	4:09:56
4	新潟大 E	4:25:39
5	筑波大 E	4:26:35
6	宮城学院 A	4:31:01

3 走の加藤と小泉は前半ほぼ互角のレースを展開したものの、加藤が途中のミスで遅れ、約1分30秒の差で、小泉がトップゴール。昨年の雪辱を果たした。スペクテータ区間での小泉の飛ぶような走りが印象的であった。

## 盛り上がった大学 OB 対抗戦

OB のレースの方も盛り上がった。筑波は小泉、坂本、佐々木という進捗著しい3人を揃えたのに対して、早稲田は、不動のエース紺野に加えて最近伸びの目立つ寺垣内に、トレイルランで走りに磨きをかけている今井を入れた。東大は、30歳代半ばを過ぎて絶好調の鹿島田を軸に加藤、村越という年齢的には好対照の二人を加えた。こちらの方も見応えのあるレースが期待された。

結果としては、早稲田の寺垣内が先行するが、一度佐々木の追い上げを許す。しかし、後半のルートチョイスで佐々木を引き離した。その後、佐々木、村越と高橋雄哉(失格と判明)の3チームが寺垣内から1分でゴールを果たす。ほぼ予想通りの上位争いとなった。

2 走では、早稲田の今井がミスをする間に鹿島田と坂本が前に出て一騎打ちの形でゴールに姿を現す。鹿島田はもっとも不利と思われるパターンで、この日最速の48分前半のタイム。坂本もほぼ10秒遅れでゴールし、数年前と同じように東大と筑波のガチンコ勝負となった。

### 男子 ME 成績 (大学 OB 対抗戦のみ上位)

1	筑波大学 OB-A	2:29:24
2	東大 OB-A	2:31:10
3	早稲田大学 OB-A	2:33:06



今回の目玉のルートチョイスレグの一つ。1走トップ寺垣内に追いついた佐々木は赤の大回りルートで寺垣内(青)の先行を許す。

(村越 真)